

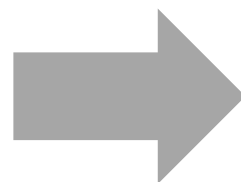
東日本大震災の影響 – 震災による建物への影響 –



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No. 204

東日本大震災やそれ以降の地震により、建物にひび割れは発生しているのか。また、それにより建屋の剛性はどの程度低下しているの見込んでいるのか。



第17回ワーキング
(2020.10.21) で議論

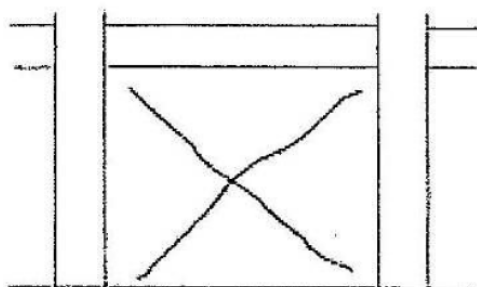
ワーキングチーム検証結果

東日本大震災やそれ以降の地震において、目視点検の結果から、**新たなひび割れは発生していないと判断されていることを確認**

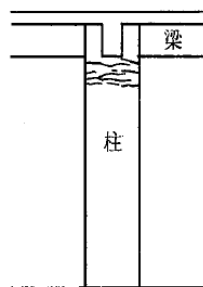
※東日本大震災発生前に、剛性に影響のない表層のひび割れは確認されている。

ワーキングチーム検証結果（抜粋）

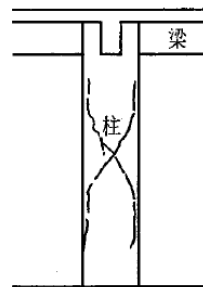
- 東日本大震災発生後、すべての建物について目視点検したが、新たなひび割れは確認できなかった。
- これまでに確認されている建物のひび割れについては、右の写真のとおり、表層ひび割れのみで、建物の剛性低下などへの影響はないものであることを確認した。



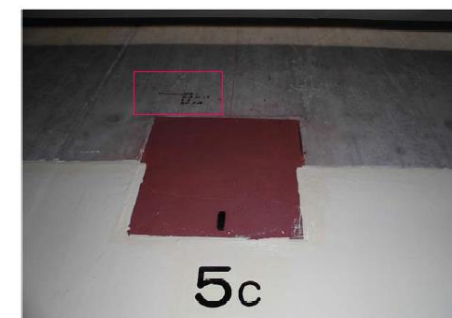
【壁に生じる地震時ひび割れ発生例】
【コンクリート構造物の目視点検方法 NDIS 社団法人日本非破壊検査協会】



【柱に生じる地震時ひび割れ発生例】
【鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針案・同解説】



原子炉建屋3階壁面



原子炉建屋4階壁面

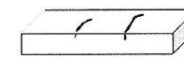


原子炉建屋5階壁面

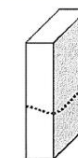
コンクリート表面に特徴的なひび割れは発生していない
⇒ひび割れの形態としては表層ひび割れと判断(経過観察)



① 表面ひび割れ



② 表層ひび割れ



③ 貫通ひび割れ

ひび割れの形態例

【コンクリート構造物の目視点検方法 NDIS 社団法人日本非破壊検査協会】